

プログラム

I 2022 年度 日本薬学会関東支部奨励賞表彰式及び受賞講演

Q 会場 (Leo Esaki 記念ホール) 12 : 30～14 : 00

1. 表彰式

日本薬学会関東支部長 須貝 威 (慶應義塾大学 教授)

2. 受賞講演

AL-1 触媒的不斉反応の開発と生物活性天然物合成への応用

崔 進 (微生物化学研究所)

座長：渡辺 匠 (微生物化学研究所)

AL-2 ジスルフィド形成を基盤とした新規中分子ペプチド合成法の開発

田口 晃弘 (東京薬科大学 薬学部)

座長：林 良雄 (東京薬科大学)

AL-3 新規機能性材料に向けたジオール化合物に応答して構造転移するミセル系と
粘弾性特性変化

三木 涼太郎 (城西大学 薬学部)

座長：須貝 威 (慶應義塾大学)

AL-4 睡眠に関連した海馬と大脳皮質の神経活動の電気生理学的・薬理的探究

松本 信圭 (東京大学 院薬 薬品作用)

座長：池谷 裕二 (東京大学)

AL-5 超音波診断治療システムの実現に向けたマイクロバブル開発と
脳標的薬物送達への応用

小俣 大樹 (帝京大学 薬学部)

座長：丸山 一雄 (帝京大学)

Ⅱ. 大会企画シンポジウム

シンポジウム S1 B会場 (A12) 14:15～16:15

薬学の未来を拓く有機化学

座長：庄司 満（横浜薬科大学）

- S1-1 大村天然物をターゲットとした効率的全合成と有用生物活性物質のリード探索
廣瀬 友靖（北里大学大村智記念研究所、大学院感染制御科学府）
- S1-2 合成とものとりが拓く天然物ケミカルバイオロジー
荒井 緑（慶應義塾大 理工）
- S1-3 標的タンパク質分解誘導剤と人工多能性幹分子創製への取り組み
叶 直樹（星薬科大 薬学部 医薬研）
- S1-4 ホウ素クラスターの創薬化学
中村 浩之（東京工業大学 科学技術創成研）

シンポジウム S2 C会場 (A21) 14:15～16:15

感染症対策最前線からの新発見

座長：河村 伊久雄（横浜薬科大学）

- S2-1 COVID-19 に対する新しい検査法の開発
○宮川 敬、梁 明秀（横浜市立大学 医学部）
- S2-2 新型コロナウイルス変異株：衛生薬学からのアプローチ
○ 神野 透人、青木 明、森 葉子、岡本 誉士典（名城大学 薬学部）
- S2-3 新規抗結核薬の開発に挑む
ー標的タンパク質から攻めるか化合物から攻めるかー
森 茂太郎（国立感染症研究所 細菌第二部）

シンポジウム S3 D会場 (A22) 14:15～16:15

科学的視点から見た漢方・生薬の品質・有効性

座長：梅原 薫（横浜薬科大学）

榊原 巖（横浜薬科大学）

- S3-1 天然資源を用いた医薬品シーズの探索

松崎 桂一（日大大学 薬学部）

S3-2 NMR メタボロミクスによる生薬の品質評価

鈴木 龍一郎（城西大学 薬学部）

S3-3 LC-MS を活用した医療用漢方製剤の抗糖化活性評価

菊地 崇（東邦大学 薬学部）

S3-4 精神神経症状に対する抑肝散や加味逍遙散の作用機序への microRNAs の関与

○宮田 信吾、清水 尚子、石野 雄吾、遠山 正彌（近畿大学 東医研 分子脳科学）

シンポジウム S4 E 会場 (B21) 14:15～16:15

生命を守る衛生薬学

座長：埴岡 伸光（横浜薬科大学）、香川 聡子（横浜薬科大学）

S4-1 胎児期における化学物質の安全性評価と適正使用に向けて

山折 大（東京薬科大 薬学部）

S4-2 科学的根拠に基づくがん予防 -コホート研究の結果からわかること-

澤田 典絵（国立がん研究センター がん対策研究所 コホート研究部）

S4-3 健康食品の安全性と有効性

千葉 剛（国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所／
国立健康・栄養研究所 食品保健機能研究部）

S4-4 我が国の食の安全性確保における食品安全委員会の役割

浅野 哲（内閣府 食品安全委員会）

シンポジウム S5 F 会場 (B22) 14:15～16:15

道具としてのデータサイエンス

座長：速水 耕介（横浜薬科大学）

S5-1 機能性食品におけるヒト有効性評価の課題と解析技術

速水 耕介（横浜薬科大学 薬学部）

S5-2 食品機能性研究におけるトランスクリプトーム解析の活用事例と展望

岡田 晋治（東京大学大学院 農学生命科学研究科）

S5-3 自然言語処理を用いて研究テーマのトレンドを探る

橋本 聡文（pRaKuDam）

S5-4 産学官連携による創薬 AI プラットフォームの構築 実用的な AI を目指して

本間 光貴（理化学研究所 生命機能科学研究センター）

シンポジウム S6 G会場 (B23) 14:15～16:15
コロナ禍における薬剤師職能の深化を考える

座長：佐藤 透（横浜薬科大学）

- S6-1 ダイヤモンドプリンセス号での薬剤師の活動
 金田 光正（済生会神奈川県病院 薬剤科）
- S6-2 コロナ禍での実務実習の現状と評価
 佐竹 尚子（横浜薬科大学 実務実習センター）
- S6-3 コロナ禍で薬剤師業務の変化がもたらす職能拡大への期待
 日向 彰（横浜市旭区薬剤師会 会長）
- S6-4 コロナ禍における薬剤師職能の深化を考える
 佐藤 透（横浜薬科大学 臨床薬剤学）

Ⅲ. 日本薬学会関東支部 若手シンポジウム

A会場 (A11) 14:15～16:15

核酸標的薬の明日を求めて ～低分子から中分子、創製から治療まで～

オーガナイザー・座長：吉門 崇（横浜薬科大学）

佐藤 一樹（東京理科大学）

SY-1 核酸医薬の機能制御を目指したキメラ型リン原子修飾核酸の合成

佐藤 一樹（東京理科大学 薬学部）

SY-2 アンチセンス核酸の安全性向上を目指した化学修飾の開発

正木 慶昭（東京工業大学 生命理工学院）

SY-3 革新的な活性・安全性を有するヘテロ 2 本鎖核酸医薬の開発

吉岡 耕太郎（東京医科歯科大学 脳神経病態学分野）

SY-4 高分子材料を用いた核酸医薬デリバリー技術の開発

○内藤 瑞、宮田 完二郎（東京大学工学系研究科マテリアル工学専攻）

SY-5 脊髄性筋萎縮症に対する初の経口薬「エブリスディ®」の開発

川田 洋充（中外製薬株式会社）

Ⅳ. ランチョンセミナー

ランチョンセミナー① J会場 (B34) 11:30～12:20

〔協賛企業〕株式会社 G&G ワークスホールディングス

演題：「患者のための薬局ビジョン」～

「薬局薬剤師の業務及び薬局の機能に関するワーキンググループとりまとめ」

～「企業としての役割」と「意識改革～アウトカム」まで～

演者： 児玉 眞由美（(株)G&G ワークスホールディングス）

ランチョンセミナー② M会場(B41) 11:30～12:20

〔協賛企業〕株式会社ニコンソリューションズ

演題： 最新イメージングソリューションのご紹介 -薬学研究への新たなアプローチ-

演者： 徳永 和明（株式会社ニコンソリューションズ AE 部）